

## 令和8年3月定例記者会見要旨

開催日時 令和8年3月19日（木）午後3時30分 302会議室

### （総務部長）

本日、諏訪市議会定例会の最終日であったため、午後の開催となりましたが、3月の定例記者会見を始めます。

### （市長）

令和7年度最後の定例記者会見です。今年度も諏訪湖記者クラブの皆さんには大変お世話になり、ありがとうございました。本日3月議会定例会が最終日を迎えまして、提出したすべての議案をお認めいただきました。令和8年度予算は過去最高額です。大変気持ちの入った大型予算を組みましたが、全員で力を込めて進めてまいりたいと思っています。引き続き、お世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。

### ○市長表彰

- ・令和8年市長表彰の受賞者は、別紙のとおりです。  
功労表彰8名 善行表彰3名
- ・表彰式は、令和8年4月1日（水）午前10時から行います。  
「令和8年度 年度始めの式」の冒頭にて実施します。

### ○市内小学校・中学校入学式

- ・4月6日（月）午前：中学校、午後：小学校
- ・長野県諏訪清陵高等学校附属中学校 入学式 同日午後

### ○令和8年度 諏訪市新入社員歓迎大会

- ・4月8日（水）午後3時30分 ホテル紅や

### ○令和8年度 すわ未来創造「子どもゆめプロジェクト」（第4期生）のメンバー募集

◇諏訪の未来を担う小中学生の皆さんが、学校や年代を越えて、諏訪市のこれからのまちづくりにテーマを持って、協働しながら探究し、諏訪市長や諏訪市教育長にその成果を提案するプロジェクトです。全体テーマを『私たちがつくる 諏訪の未来』として

- ①水と緑あふれる豊かな環境をつくるまち
- ②ゼロカーボンシティとして資源を大切にできるまち
- ③人と環境にやさしい“ものづくり”の情熱があふれるまち の3つの視点を持って、一人一人が知恵を出し合い答えを探します。

◇最終回は、テーマに対する自分の意見や考えを、市長、教育長に提案（プレゼンテーション）し、意見交換をします。

◇募集するメンバーは、小学校5年生から中学校3年生（定員15名）です。

◇募集期間は、令和8年4月8日（水）～5月8日（金）です。

◇詳しくは、各学校を通して、募集案内をご家庭にお配りします。

◇市内3校の高校生、公立諏訪東京理科大学生、長野県福祉大学校生の皆さんがメンバ

一と伴走します。

○第67回 諏訪湖開き

4月14日（火）午前9時00分 手長神社

○一般廃棄物最終処分場候補地について

（記者）

諏訪湖周行政事務組合の最終処分場ですが、先日諏訪市としての決定が、市議会に報告されたが、金子市長として候補地をどう見られているかをお願いします。

（市長）

諏訪市として候補地を選定したという報告を委員長である副市長から受け取りました。丁寧に検討を重ねてきたことを承知し、諏訪市として確定しました。18日には、市議会全員協議会で報告をしました。25日に諏訪湖周行政事務組合の正副組合長会議で、組合長の早出岡谷市長に、諏訪市としての決定をお話し申し上げ、その後開催されます諏訪湖周行政事務組合の議会全員協議会で報告をする予定です。その後は、諏訪湖周行政事務組合の事業として、候補地としてふさわしいかどうかを議論していただく段取りに入っています。

（記者）

市長も現地を直接訪れたと伺いましたが、直接ご自身でご覧になっていかがでしたでしょうか。

（市長）

現地を訪ねたタイミングは、1月の北真志野区の総会において、正式に候補地として、申請することについての承認が得られたその直後だったと思います。現地を副市長、担当の職員と一緒に見てまいりました。斜面ではありますが、安定した平地に近い適地であると感じました。報告書において、総合評価も80点を超える数字ということでしたので、市として確定をしました。

○SUWA生活応援クーポンについて

（記者）

生活応援クーポンの利用が始まりましたが、今回は電子と紙の併用ということで、使われる市民の方もどのように使ってもらおうか、呼びかけはありますか。

（市長）

秋にSUWAデジタルチケットを発行しました。その時はデジタルでしたので、一部高齢の方たちから使い勝手がよく分からないという声もありました。今回は、市民全員にお配りする生活応援のクーポンになります。従いまして、内部で検討し、デジタルでも紙ベースでも両方使えるバージョンとして実行となります。開いてしまうとデジタルでしか使えなくなってしまいます。開いてしまう方もいらっしゃると思いますので、分からないことは遠慮なく相談をしてください。80歳以上でスマホをお持ちの方も多くなっています。

す。使い方などは、担当課で説明をさせていただきます。

(記者)

生活応援クーポンの相談は市のどちらの窓口になりますか。

(市長)

市役所3階にある企画政策課です。お問い合わせをお願いします。

#### ○一般廃棄物最終処分場候補地について

(記者)

諏訪湖周行政事務組合の最終処分場の一般廃棄物最終処分場の件で伺います。今後の流れをご説明いただきましたが、今後は諏訪湖周行政事務組合で、事業について具体化していくことと思います。一方で、諏訪市とすれば地元の様々な調整も控えていると思います。今まで副市長をはじめ選定委員会で選定作業を担ってこられました。今後市長は、どのようにリーダーシップを発揮していかれるか、お考えを教えてください。

(市長)

選定における事務的な準備段階を副市長以下、検討委員会にお任せをしました。ここで諏訪市として、候補地として推薦をした立場でありますので、この後の詳細の調査等々については、湖周行政事務組合の仕事ということになりますが、引き続き私は、副組合長という立場でもあります。地元の北真志野区は、諏訪市の地区ですので、区の皆さんとの橋渡し、あるいは疑問などがございましたら、諏訪市は調整役として取り組んでまいりたいと思っています。

#### ○女性市長による子ども・子育て施策に関する懇談会について

(記者)

4月8日の女性市長による子ども子育て施策に関する懇談会が、東京で行われるということですが、昨年の11月に、静岡県島田市市長が諏訪に来られまして、その時に全国女性市長会を立ち上げるというお話があったと思いますが、今回8日がそれに当たるのかという部分と、そうであれば、金子市長はどんな活動をされていきたいか、どんなことを期待されているか、お伺いします。

(市長)

11月に女性市長の話し合いが開催されたことは事実です。その中で、その後も研究は続いており、独立した組織でいくのか、全国市長会の中の一つの組織として置かれるようになるのか、どちらもメリット、デメリットというのがあります。その方向性については、当日まで分からないと思います。私がここで申し上げる立場でもないので、それについては様子を見守っていきたいと思います。ただし、全国の女性市長の数は選挙があるたびに変動するため、人数は確定ではありませんが、大方50名ほどになっており、そのうちの60%が1期生、30%が2期生という構成です。1期生、2期生の若手の市長の皆さんは、分からないことや教えて欲しいこと、あるいは悩みを共有したいことなど女性ならではの課題をお持ちの方がたくさんおられました。その中で、3期生だから4期

生だから、よく分かっているということではありませんが、分かる部分もありますし、お互い情報共有をする中で見えてくるものもあるため、そうした支え合いのグループというものは、期待をされるだろうと感じています。

(記者)

女性市長の任期が、男性より少ないというか、傾向としてはあると思います。金子市長が課題に思っていることはどんなところですか。女性市長を育成するとか、環境を改善するとか、どういうところに課題があるとお考えでしょうか。

(市長)

私もそうは言っても、先輩というには少々未熟ですから、染谷島田市長はじめ、4期生、5期生の先輩の皆さんに教えていただくこともたくさんあります。1期、2期の方と同じだと思います。

(総務部長)

以上をもちまして3月の定例記者会見を終了します。ありがとうございました。